

第1回がん死ゼロ健康長寿社会 膵がん診断・治療シンポジウム

日時：2018年3月24日（土）9：50～17：00（9時20分受付開始）

場所：アキバホール

（東京都千代田区神田練塀町3 富士ソフトアキバプラザ5階）

膵がんは難治がんの代表であり、早期診断及び治癒率の向上が非常に困難で生存率が極端に低いことが知られています。量子科学技術研究開発機構が掲げる「がん死ゼロ健康長寿社会」の目標において、膵がんの克服を一つの試金石と考え、この分野の国内外の著名な研究者を招聘して、量子メス、標的アイソトープ治療などを使用した次世代の膵がんの診断・治療技術を議論することで、この分野における研究開発を加速し、がん撲滅に光明をもたらすことを目指します。

- ・参加費：無料
- ・参加申込：2018年3月16日（金）締切 定員（200名）になり次第、受付終了
放医研ホームページ http://www.nirs.qst.go.jp/information/event/2018/03_24.html
または下記のQRコードから、参加受付フォームにアクセスしてお申込みください。



アキバホール

〒101-0022

東京都千代田区神田練塀町3 富士ソフトアキバプラザ

TEL:03-5209-6285

FAX:03-5209-5261

- JR線 秋葉原駅 中央改札口より徒歩2分
- つくばエクスプレス線秋葉原駅 A3出口より徒歩1分
- 東京メトロ日比谷線秋葉原駅 2番出口より徒歩3分

連絡先

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

放射線医学総合研究所 シンポジウム事務局

〒263-8555 千葉市稲毛区穴川 4-9-1

TEL: 043-206-3367

E-mail: cancer_zero_sympto@qst.go.jp



主催：QST 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

後援（予定）：日本核医学会、日本放射線腫瘍学会、PanCAN

9:20	受付開始	
9:50	開会挨拶	平野 俊夫 (量子科学技術研究開発機構)
10:00	膵がんの内科療法	山口 武人 (千葉県がんセンター)
10:30	膵がんの外科療法	大塚 隆生 (九州大学病院)
11:00	膵がんの重粒子治療	山田 滋 (量研放射線医学総合研究所病院)
11:30	膵がんの放射線治療と CIPHER 計画	David Sher (UT Southwestern Medical Center)
12:00	休憩 (昼食準備)	
12:15	特別講演 (ランチオンセミナー) がんの近赤外光線免疫療法	小林久隆 (米国立がん研究所)
13:00	休憩	
13:15	膵がんの放射線生物	Michael Story (UT Southwestern Medical Center)
13:45	量子メスの照射技術	稲庭 拓 (量研放射線医学総合研究所)
14:15	AI を活用した放射線治療	Steve Jiang (UT Southwestern Medical Center)
14:45	休憩	
15:00	ナノ薬剤送達システムによる治療	狩野 光伸 (岡山大学大学院医歯薬総合研究科)
15:30	拡散強調画像を中心とした 最近の MRI 診断技術について	高原 太郎 (東海大学工学部)
16:00	膵神経内分泌腫瘍の診断と治療	高野 祥子 (横浜市立大学病院)
16:30	PanCAN Japan の活動	眞島 喜幸 (PanCAN Japan)
17:00	閉会挨拶	鎌田 正 (量研放射線医学総合研究所)